

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
1	桃香の自由帳	地域の人たちと触れ合っていく小学2年生の桃香と、娘を見守る両親の姿を描く。一人ぐらしで気難しいと思われるおじいさん。昔、素行不良で警察に捕まったことがあるという噂の母とその娘。「人とのつながり」を自ら断っていないか、何気なく発したり聞いたりする陰口・噂話が、知らず知らずのうちに人権を侵害していることや、ともすれば見失いがちな、人と人とが共に生きる温かな世界とは何かについて、語りかけていく。	36分 (2011年) 兵庫県
2	それぞれの立場 それぞれの気持 職場のダイバーシティと人権	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げる。「働く女性たち」「上司と部下」「職場のメンタルヘルス」「仕事のモチベーション」など、年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティ（多様性）の考えに沿って、解決のヒントを示していく。	32分 (2011年) 東映㈱
3	心のケアと人権 職場編	中堅サラリーマンの佐伯は、配置転換後にストレスと仕事の過重により欠勤がちとなる。ある日、職場でトラブルを起こした佐伯は病院に行くことになり、うつ病と診断された。それでも、周囲は「さぼり」とか「仕事のできない言い訳」などと陰口を叩く。上司の鈴木は、何でも話し合え、お互いに支えあう職場環境を作ることが大切だと悟り、課内のミーティングを開く。	22分 (2011年) 東映㈱
4	心のケアと人権 家庭編	勝彦は課長に昇進したが、仕事の責任が重くなり、負担も増えていた。会社を休みがちになり、病院を受診したところ、うつ病という診断となった。妻・友里子は、その診断が受け入れられず、近所の視線も気になってくる。医師は「うつ病は適切な処置をすれば治癒することができる病気であり、ご主人を守るためには、家族の理解と支えが必要」ということを伝える。友里子は偏見と戦い、病気を受け入れ夫を支えていくことを決意する。	18分 (2011年) 東映㈱
5	ほんとの空	誰しも他者の排除や差別がよくないことは理解している。一方で私たちは、自分や家族の生活を守るために、あるいは誤解や偏見に気付かずに他者を排除したり傷つけたりしがちである。このドラマの主人公・弓枝もそんな一人だ。弓枝に、高齢者や外国人、障害のある人、そして福島県から引越してきた息子と同じ年頃の少年など、他の人の気持ちを思いやることができるようになるきっかけを作ったのは、同じ集合住宅に住むタイ人夫妻だった。	36分 (2012年) 兵庫県
6	ソーシャルメディア のリスクと正しい つきあい方 企業編	ブログ、掲示板、SNS（フェイスブック等）、動画共有サイト、ツイッターと多様なサービスが提供されるソーシャルメディア。うまく活用すれば、人脈を広げたり有用な情報にアクセスできたりと、企業活動にプラス効果を生む。しかし、「軽い気持ちで」「友達と雑談する感覚で」書き込んだことがもとになって、大きなトラブルを引き起こすこともある。社会人としてソーシャルメディアとどうつきあうかを伝える。	30分 (2012年) 日本経済新聞 出版社

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
7	響け大地に、 人の心に	ドラマ編と解説編の2部構成になっている。ドラマ編では、父親がブラジル人であるということでクラスの友人から嫌がらせを受けている小学5年生の少女・カルロスひかるとその家族、日本で働く外国人の日常生活を通して、偏見への「気づき」や「学び」の大切さを考える。解説編では、「外国人の人権」「子どもの人権」「同和問題」「一人ひとりの人権を大切にするために」の4つの課題を設定し、各課題の後半ではアグネスチャンさんが人権に対する自分の考えを話す。	ドラマ編30分 解説編11分 (2008年) 滋賀県
8	えっ！ これも人権？	日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権なんだ」とその大切さに気づく4コママンガと実写で分かりやすく構成されている。 「子どもの巻」「暮らしの巻」「会社の巻」の3つに分かれており、別々に鑑賞することもできるようになっている。	30分 (2007年) 和歌山県
9	未来への虹 - ぼくのおじさんは ハンセン病 - <アニメーション>	小学校6年生の正太は、「国立療養所多磨全生園」に住む平沢保治さんの家へおつかいを頼まれる。はじめて訪れる「全生園」がどのようなところかわからない正太は、平沢さんの容姿に驚き、戸惑いを覚える。そんな正太に平沢さんは語りかける・・・ 「ハンセン病」という病気にかかり、14歳の時に茨城県から全生園に入所したこと。園から出ることも許されず、外見が他の人と違うために差別を受けてきたこと、薬のおかげで病気が完全に治るようになって、国は強制隔離を続け差別を助長してきたこと。正太は「みんなにもっとハンセン病のことを理解してもらって、おじさんのふるさとへの虹の架け橋をきっと僕たちがかけるから」と決意を語る。	30分 (2005年) 法務省
10	ヒーロー	主人公の行男は地域社会と縁を持たなかったサラリーマンだが、あるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会う。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていく。血縁や地縁の希薄化という「無縁社会」と呼ばれる社会状況の中で傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうことを意図して制作された作品。	34分 (2013年) 兵庫県
11	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の周りにおける人権問題を考える。「マタニティマークに知らんぷりする人」「イクメンは変ですか」「親の介護をするのは誰？娘だから、主婦だから親の介護をするのは当たり前なの？」「愛情とは支配すること？DVの問題」などを取り上げながら、気づくこと、そして行動することの大切さを描いている。	30分 (2013年) 東映㈱
12	無関心ではいけない！ 障害者の人権	人は誰でも、老化によって足腰が弱ってきたり、視力や聴覚が衰えてくる。いつかは障害者と同じような不自由を感じる可能性があり、障害者に対して無関心ではいられない時代になってきている。 視覚障害者、聴覚障害者、車椅子の方の日常を通して、障害を理由にした直接差別、障害を理由としないが結果的に違う扱いをされる間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考えていく。 誰もが不自由を感じない社会環境づくりこそが、障害者の人権を守っていく第一歩であることを訴える。	24分 (2013年) (株)映学社

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
13	パワーハラスメントを考える 「パワーハラを正しく理解するために」	上司だけでなく、誰もがパワーハラ加害者になりえる現在、何がパワーハラを生み、どのような行為がパワーハラになるのか、事例から考える。厚生労働省の概念にそったパワーハラジャッジの要件を踏まえ、もう一度職場全員でパワーハラを正しく理解するための教材。	28分 (2013年) ㈱アスパクリエイト
14	日本人拉致問題 啓発アニメ めぐみ 〈アニメーション〉	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中で北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメ。 山寺宏一（横田滋役） 深見梨加（横田早紀江役） 高山みなみ（横田めぐみ役） などの声優陣がボランティアで出演している。	25分 (2013年) 政府拉致問題 対策本部
15	ハンセン病とは？ ーハンセン病を正しく理解するためにー	ハンセン病の隔離・偏見・差別の歴史や、ハンセン病療養所の紹介、兵庫県出身の語り部による証言などから構成されている。ハンセン病問題は今、私たちの身近でおきている「いじめ」や「差別」に共通するものがある。この問題をどのようにして乗り越えればいいのか、考えていくための教材。	30分 (2014年) 兵庫県
16	あなたに伝えたい こと	「インターネット時代における同和問題」をテーマとした作品。主人公の真央は、ごく普通の若い女性。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知る。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などとの関わりを通して、ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを明るい希望とともに伝える。	36分 (2014年) 兵庫県
17	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権 2 相手の立場で考える	「先輩社員からの親切がだんだん重荷になる」「メールがいつもぶっきら棒」「年上の部下、年下の上司」「育児時短制度は出世に響く？」など、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれ異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていく。互いに悪意はないのに、コミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況にならないようにするための方法を考えていく。	23分 (2013年) 東映㈱
18	悩まず アタック！ 脱・いじめのスパイラル	実際にいじめにあって悩み苦しんだ、ある女子中学生の作文をドラマで映像化した作品。いじめられたときは一人で悩まず、いかに勇気を出して周囲の大人に悩みを告白し、解決の道を探ってもらうことが大切か、また教師ら周りの大人は、いじめのSOSをいかに早く正確につかみ、的確に対処することが大切かを訴える。	33分 (2014年) ㈱映学社
19	今日もよか天気たい	視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー。ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づく。また、多くの人から支えられてきた京子自身、人の役に立つことで生きがいを見つけていく。	35分 (2006年) 福岡県
20	イマジネーション imagination 想う つながる 一步ふみだす	「こどもの人権ーいじめ問題ーいじめをなくすのはあなた」「同和問題 関わらないのが一番 それ本当？」「障害者の人権 見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと」の3つのテーマを収録。互いが尊重し合って生きていくために、相手を想うこと、つながること、一步ふみだして行動することの大切さを訴える。	31分 (2014年) 東京都 教育委員会

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
21	同和問題～過去からの証言、未来への提言～	人権教育・啓発担当者向け（61分） 同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、問題の本質について解説。また、同和問題解決に向けて実施されたさまざまな施策を編年的に概観し、当時の社会情勢とともに理解できる内容となっている。 一般向け（19分） 結婚を前提に交際している奈々子と公平のドラマ。奈々子は公平を両親に紹介する。両親は公平を気に入ってくれたようだが、「公平さんの出身地には同和地区が多いと聞いたことがある。」「身元調査をしたほうがいいかもしれない。」と話し合っている。それを聞いた奈々子は、なぜ身元調査をする必要があるのか、なぜ同和出身者だと結婚してはいけないのか、両親に詰め寄るが・・・。	61分 19分 (2014年) 法務省
22	あなたがあなたらしく生きるために-性的マイノリティと人権-	性的マイノリティについて人権の視点から理解することをねらいとした作品。『性的マイノリティとは』『ドラマ「トランスジェンダーの中学生陽菜の場合」』『性的マイノリティが置かれた現状』『ドラマ「同性愛の会社員 雄輔の場合」』『誰もがいきいきと暮らせる社会』の5章から構成されている。	30分 (2014年) 法務省
23	未来を拓く5つの扉～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	入賞作品の中から「本当の国際化とは(7分30秒)」「電車内に咲いた、笑顔の花(7分30秒)」「立ち止まる(8分)」「NO!と言え、強い心をもつ-ハンセン病問題から学んだこと-(8分30秒)」「絆(6分30秒)」の5編を朗読して、アニメーションやイラストで紹介する。朗読は、大河ドラマ「龍馬伝」で龍馬の幼少役などを演じた濱田龍臣とAKB48チームBのメンバー、大和田南那。	46分 (全編再生) (2014年) 法務省
24	忘れてはならない夏がある-原爆を見た日-	広島、長崎で被爆し、現在は尼崎市内で暮らす原子爆弾被爆者の体験を、映像化した作品。被爆者の証言を中心にした本編33分と小学校等で語り部活動を行う際に用いる紙芝居3編「11歳の夏 お母さんに会いたい。お母さん!泣きながら市内をさまよったあの日。(15分)」「水がほしい 『お兄ちゃん、水がほしい』弟の最後の願いも叶えてあげられませんでした。(12分)」「その日から 婦女子は米軍から逃げるよう通告され、着の身着のまま貨車に乗り・・・。(14分)」	33分 15分 12分 14分 (2014年) 尼崎市
25	ここから歩き始める	「認知症を共に生きる」をテーマとした作品。日本における平均寿命の大幅な伸びや少子化などを背景として、社会の高齢者が急速に進んでいる。それに伴い、認知症高齢者も大きな社会問題となっている。高齢者を家族や地域でどのように支えていくか、また高齢者自身の意識や能力をどのように生かしていくかを考えることは、これからの私たちの課題である。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐるきずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通じて考えるきっかけとなるドラマ教材となっている。	34分 (2015年) 兵庫県
26	その人権問題わたしならどうする?会社編	人間が人間らしく生きる権利。それが人権。それが侵害される場面が私たちの生活の中に存在している。さまざまな人権問題(センシユアル・ハラシメント、パワー・ハラスメント・精神疾患等)もしも登場人物の立場になったら自分はどう行動するかを考える、視聴者参加型の学習映像集。	45分 (2015年) ㈱ドラコ

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
27	ケータイ・ネットこころが心配 犯罪から子どもを守る	パソコンや携帯電話、スマートフォンなどの普及が進み、多くの子どもたちもインターネットを利用するようになった。一方で電子メール、チャットなど文字によるコミュニケーションがうまくいかず様々なトラブルや深刻な問題が発生している。インターネットを上手に安全に使う方法を学んでいけるように、子どもを守るために大人が教えなくてはいけないことは？どのようなことに注意したらいいのかを考え、理解を深めさせる内容となっている。	23分 (2015年) 榊映学社
28	身近な人権問題 人権は小さな気づきから	「こんな時、あなたはどうしますか」身近な人権問題を題材に、気づきを促すための教材。項目は「いじめ問題」「子どもの人権」「障がい者の人権」「風評被害の問題」「虐待問題」「女性の人権」「高齢者の人権」「病気を患った人の人権」の8項目。人権は心の問題であり命の問題。一人ひとりが人権に対する意識を少しずつ持つ事で救える命がある。身近な人権問題に気づき、普段の生活の中で人権問題を意識させるために問いかけ、考えさせる教材となっている。	34分 (2014年) 共和教育映画社
29	子どもを守る！SNSの安全な使い方(保護者向け)	中高生に普及している携帯電話、スマートフォンであるが安全な利用法に関する教育が追い付いていないのが現状である。便利な反面、使い方を間違えると事件に巻き込まれる可能性がある。保護者や地域の住民にもSNSの基本知識や安全の使い方を理解できるように解説している。	20分 (2014年) 榊日経映像
30	風の匂い	平成28年4月に「障害を理由とする差別の推進に関する法律」が制定されました。この法律では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。障害のある人は社会の中にあるバリアによって行動の制限や不当な扱いを受けるなど、生活しづらい状況におかれることがあります。このバリアは物理的な問題だけでなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれています。私たち一人ひとりが意識を変えて、「バリア=壁」をなくしていかなければなりません。本作は、スーパーマーケットで働く青年二人(歩・正人)が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間関係を通じて、社会的な問題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材となっている。	34分 (2016年) 兵庫県
31	光射す空へ	同和対策審議会答申が出されて50年。その間、国や地方自治体等で様々な取り組みが行われ、同和地区の生活環境は大きく改善されました。しかし、同和地区・被差別部落と呼ばれる地区の出身者や住民に対する差別は形を変えて根強く残っています。また、まだ十分に認められていない人権課題として、性同一性障害や性的指向における少数派の人々、若年性認知症と診断された人々に対する誤解や偏見もあります。この映画では、大学生たちの悩みと学びを通じて、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重され自分らしく生きる社会について考えていく機会となる内容となっている。	32分 (2016年) 北九州市

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
32	マザーズ ハンド～お母さんの仕事～	私たちは、だれもが健康・幸福で生きがいのある生活をしたいと願っていると思います。そのためには、みんなが身近なところに存在する様々な人権を理解して人の尊厳を考え、お互いの立場を尊重して、日々の生活を過ごさなければいけません。ある家族の姿を描くことによって、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めると共に、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうことを目的に制作されました。	19分 (2014年) 鹿児島文化企画
33	バースディレストラ ン	中学3年生の主人公が、父親の死によって始めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心する姿を描いています。この作品を通じて、親子の絆を断ちきり、家族愛まで奪ってしまう部落差別とは何か、また、部落差別を支えている様々な社会意識に目を向けながら、自分の本当の幸せとは何か、差別を許さない生き方とはどのようなものかを今一度考えるための手がかりになるビデオ教材となっている。	30分 (2000年) 滋賀県
34	そんなの気にし ない	主人公の作品のタイトル「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だということを告白したときに返ってきた言葉です。告白した方は、相手にもっと知ってほしかった、告白された方は相手がそのままの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかしその一言がきっかけで二人はすれ違ってきます。「気にしない」という言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるのかもしれませんが。私たちが普段なにげなく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を乗り越えるのもまた、相手を信じる力だということを伝える作品となっている。	17分 (2016年) 東映㈱
35	あした 咲く	生き方の異なる姉妹、独身会社員の妹茜と専業主婦の姉翠、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている。姉妹での対立や、父との対話、そして地域の人々とのふれあいを通じて、別の視点や価値観に気づく。子どもの育成のために地域として、より一層安心して子育てできる環境づくりをするために必要なこと、女性はもちろん全ての人が、性別に関わりなく互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、その個性と能力を十分発揮できる共生社会、多様性尊重社会をめざすために日常生活の中で心がけることを考える機会となる内容となっている。	36分 (2017年) 兵庫県
36	心のバリアフ リーをめざして ー合理的配慮と 職場のコミュニ ケーション	法定雇用率の引き上げや障害者差別解消法、改正障害者雇用促進法の施行により、ダイバーシティ（多様性）の推進の観点からも積極的に取り組む企業が増えている。事業者には「合理的配慮」の提供義務が明記されたが「障がいのある人が身近にいないので接し方がわからない」という声はよく聞く。障がいのことをよく知らずに、変に構えてしまったり、遠慮をしすぎたりすることがあるかもしれません。そのような関係はお互いに望まないでしょう。また、知らないということは、偏見にも繋がってしまうおそれがある。まずは障がいについて正しく知ること。必要な配慮について学び“いい距離感”のコミュニケーションとはどのようなものかを共に考えるきっかけとなる教材。	35分 (2018年) ㈱自己啓発協会

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
37	誰もがその人らしくーLGBTー	LGBTは他人事ではなく、誰もが自分らしく生きることを考えていくうえであまねく全ての人々に関わりのある問題である。LGBT（性的少数者）の人たちに対するセクハラの問題、性のグラデーション（どこからどこまでがLGBTと明確には分けられない）への理解、社内でLGBTの理解者（アライ）になり、社風を変えていくことを宣言することにより、違いを認め合い、誰もがその人らしく生きることの大切さを見出していき、たまたまその位置にいる人々というふうに客観視できれば、LGBTの人たちへの見方も広がり、誰もが生きやすい社会を作る第一歩になる。周りにいたけれど見えなかったLGBT（性的少数者）の人たちが見えてくるビデオ教材。	20分 (2017年) 東映(株)
38	子供防犯スクールネット・SNSトラブル編	LINE、Twitter、Instagram・・・家族や友だちと気軽にコミュニケーションがとれるSNSの機能を持ち様々なアプリやネットサービスは、今や子ども達にとってとても必要不可欠な存在となっている。しかし一方で、その便利なはずのツールが援助交際やいじめなどの犯罪の芽となっているのも事実。ネットやSNSにまつわるトラブルから子ども達を守るにはどうしたらいいのでしょうか？専門家の先生が、優しく・楽しく教えてくれるビデオ教材。	25分 (2017年) 東映(株)
39	君が、いるから	水越奏は、母親からの心理的虐待に悩む、自己肯定感の低い若者。彼女は予備校生になった今でも自由な買い物さえ許されず、心に傷を負い、孤立し、困難を抱えている。しかしあるきっかけからコンビニエンスストアでアルバイトをはじめ、周りの人たちと関わることで、「ほんの小さな冒険」を経験し、少しずつ変わっていく。虐待やいじめなどにより人権を侵害され、苦しんでいる子どもや若者が今、この時も、すぐ隣にいることに、私たちは気づかなければならない。この教材は、「子ども・若者の人権」をテーマに、子どもや若者が周りの人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づき成長し、自立していける社会の実現をめざす人権啓発ドラマである。	33分 (2018年) 兵庫県
40	認知症と向き合う	認知症の文乃は、同居家族に対して暴言や暴力を振るったり、ひどい物忘れや徘徊をしたりするなどの症状がある。疲弊し、ばらばらになる家族。しかし、認知症は正しい知識を持って患者の気持ちを理解すれば、家族や本人の苦労も減り、互いに良い関係を築けるようになる。大切なのは、認知症の人が築いている世界を理解し、尊重することである。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることが教材の目的。	30分 (2016年) 東映(株)
41	いのちに寄り添う～ターミナルケアと人権～	自宅介護で最期を迎える父に寄り添う有泉仁さん、がん治療をしながら在宅勤務を続ける小林裕さんに密着取材。「どんな風に生きて どんな風に最期を迎えるのか」をテーマに、いのちに寄り添う人々を追いかける。終末期医療の在り方、病気との向き合い方はひとりひとり違う。けれども、誰もが命の主人公だということに変わりはない。小林さんは「人の尊厳は、あなたが必要、と言われることだ」と言う。そして有泉さんと医療チームが迎えた、父の最期。仁さんが、父のいのちに寄り添う日々の中で気づいたこととは・・・。	35分 (2017年) 東映(株)

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
42	Voice!!!人権の教室	ようこそ「人権の教室」へ。中高生が「人権」について授業形式で学ぶ、ドラマ仕立ての教材。はじめはピンと来ていなかった生徒たちも、講師たちから授業を受けていくなかで、3つのテーマについての理解を深めていく。授業では、1時間目：オリンピック・パラリンピックと人権—メダリストと考える「2020年に向けて自分なら何ができるか。」 2時間目：北朝鮮による拉致問題—ラジオ制作者と考える「拉致被害者への人権侵害」 3時間目：子どもの人権（いじめ問題）—NPO理事と考える「家庭、学校、地域が連携するいじめ対策」が、それぞれテーマ。	38分 (2017年) 東京都 教育委員会
43	ハラスメントを生まないコミュニケーション—グレイゾーン事例から考える	ハラスメントを生まないためには、どのようなことを意識すれば良いのだろうか。普段の何気ない言動が、一見コミュニケーションが良好に見える職場に潜む、落とし穴かも。普段の何気ない言動が、知らぬ間にハラスメントになっているかもしれない。この教材では、パワハラ、セクハラ、マタハラをめぐるグレイゾーン事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていく。	25分 (2018年) 東映㈱
44	サラマツト～あなたの言葉で～	主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して、外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、そして、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描いている。「違い」は「壁」ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす内容となっている。	36分 (2019年) 兵庫県
45	多様性入門	「多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かし合うことだ」をテーマに、多様性時代のコミュニケーションについて考える作品。母国の文化で長期休暇を求める外国人社員、価値観の違う若手社員、自分が多数派であるという思い込み・・・職場で、地域で、誰もが経験しうる3つの事例の解説を通じて、多様性尊重の入門編として活用できる教材です。	36分 (2019年) 東映㈱
46	知りたいあなたのこと 外見からはわからない障害・病気を抱える人	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、つらい思いをすることも多いといいます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	21分 (2019年) 東映㈱
47	トランスジェンダー～未悠・彩・歩夢～	LGBTの「T」、トランスジェンダーである3人（未悠・彩・歩夢）が集まって本音トークを繰り広げるドキュメンタリー。3人は性別違和を感じながらも、自分自身と向き合い、乗り越えてきた。知識としてのLGBTから一歩踏み込んだ理解へ向けて、当事者の声とその生い立ちや現在の生活、それぞれの家族や友人たちの思いを描く。	27分 (2018年) 風楽創作事務所・フルーク映像㈱

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
48	カンパニユラの夢	“社会に傷つけられた痛みは、誰が癒すのか”——。「超高齢化社会とひきこもり（8050問題）」というテーマの理解を進め、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす、心温まる人権啓発ドラマ。 主人公の麻帆は、あるきっかけで「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることであると気付く。近所に住む谷口洋子は、自宅に20年以上ひきこもる子・誠一を支えながら、問題を解決できず不安を抱えている。麻帆は、周囲の協力を得てパート先の喫茶店「カンパニユラ」でひきこもり支援のイベントを開催することになり、「がんばらなくていい。楽しく過ごすだけでいい」という言葉を受け誠一も一度参加してみることにする・・・。	36分 (2020年) 兵庫県
49	STOP! デートDV	好きな人と交際できるのは素敵なこと。しかし現在、10代のカップルのおよそ三組に一組の割合で、デートDVが起きていると言われています。この作品は、若者間で起こるデートDVをドラマ化。解説パートではデートDVが起こった時、どうすればよいか。被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分け、デートDVについての理解を深める構成となっています。 テーマ①精神的暴力・経済的暴力②身体的暴力③性的暴力	22分 (2017年) ㈱ドラコ
50	「違い」を「力」にするために—職場のコミュニケーションのヒント—	職場の多様性が進むなか、お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのか、事例をとりあげながら考えます。 テーマ①ルーツの違い②障害者といろいろな性③ハラスメント④同和問題⑤働きやすさと働きがい	26分 (2020年) 東映㈱
51	シェアしてみたらわかったこと	東京のどこかにあるシェアハウス。ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下暮らしている。主人公・未来「上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらわかったこと。」 テーマ①外国人に関する人権“外国人、キライですか？”②性自認や性的指向に関する人権“素敵な女性になれると思ってた”③外から見えにくい障害のある人の人権“わたし、発達障害なのです”④災害時の人権	46分 (2019年) 東京都 教育委員会
52	夕焼け	主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として制作された人権啓発ドラマです。	35分 (2021年) 兵庫県
53	家庭からふりかえる人権 話せてよかった	家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることが、組織や社会における意識も見つめ直すことにつながります。自分の中にある思い込みに気付き、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとなるドラマ形式の作品です。	27分 (2020年) 東映教育 映像部

☆DVD☆

番号	題名	内容	上映時間など
54	いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権	ネットでの誹謗中傷やデマが、たいへん大きな問題となっています。ネット上の誹謗中傷により、命まで落とす人もいますし、社会的にたいへん大きなダメージをうけることもあります。この作品では、根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受け、現在にいたるまで誹謗中傷を受け続けながらも、誹謗中傷と闘い、乗り越えていく経験をお持ちのスマイリーキクチさんに出演いただき、ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例をもとに考えていきます。	20分 (2021年) 東映教育 映像部
55	☆ バースデイ	トランスジェンダーであることを打ち明けた主人公とその家族の葛藤を描いた『バースデイ』。「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」というテーマをドラマ仕立てでわかりやすく理解できます。 羽野笑花は小さい頃から性別違和を感じ、辛い思いをしてきたが、20歳の誕生日の夜、自分がトランスジェンダー男性（自認する性が男性）であることを両親に打ち明ける。母・美由紀はそれを受け止めることができないが、多様性を認める考え方に触れ次第に自分の心と向き合っていく・・・。	37分 (2022年) 兵庫県
56	☆ 人権のすすめ ハラスメント編／ いろいろな性編／ 障害者編	職場における人権問題を「ハラスメント」「いろいろな性」「障がい者」という3つのテーマで多角的に学ぶことができます。 【ハラスメント編】共に働く仲間をハラスメントの被害者にも加害者にもさせないためには？ 【いろいろな性編】誰もが自分らしく生き生きと働け、近くにいる誰かを無意識に傷つけないためには？ 【障害者編】障がいの有無に捕らわれず、きちんと相手と対話することで思い込みを取り払い、新しい見方（味方）を増やしていく・・・。	27分 (2022年) 東映教育 映像部
57	☆ 今そこにいる人と、しっかり出会う —同和問題—	この作品は、同和問題をモチーフに、人と人がしっかりと出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントとなるよう構成されています。ドラマ形式で描かれているので、登場人物の気持ちに寄り添って視聴することができます。 介護付き老人ホームで働く臼井は、入居者との何気ない会話の中で先輩の佐藤が理不尽な「差別」を受けたことを感じ取る。憤慨する臼井に佐藤は、「私には、いざとなったら駆け込める場所と支えてくれる人がいるから大丈夫」と言う。佐藤との対話を通して、臼井は実感した。同和問題は、自分自身の人との向き合い方とつながっていると・・・。	24分 (2020年) 東映教育 映像部

☆ 令和5年度購入 DVD